

番号	12
事業名	高齢者の介護予防・生活支援・認知症予防事業【拡充】
予算額（主な支出）	①介護予防動画配信及び集いの場運営支援事業（一般介護予防事業費） 5,000 千円 ②住民主体型訪問サービス B 補助金交付事業（介護予防・生活支援サービス事業費） 2,880 千円 ③認知症カフェ運営補助金交付事業（認知症総合支援事業費） 600 千円
特定財源	国県交付金等 ①4,375 千円 ②2,519 千円 ③484 千円
事業の概要	<p>高齢者が要介護状態等となることを予防するとともに、要介護状態等となった場合においても、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。</p> <p>①介護予防動画配信及び集いの場運営支援事業【新規】 集いの場の運営支援システムを導入し、希望者に介護予防動画配信サービスを実施する。また、介護予防集いの場で動画を活用する。集いの場参加状況、動画配信視聴履歴、基本チェックリストなどの情報を管理する。</p> <p>②住民主体型訪問サービス B 補助金交付事業【新規】 住民ボランティア等が主体となり、生活支援サービスを行う団体に対し、運営補助金を交付する。 ・補助金 月額 30,000 円を上限</p> <p>③認知症カフェ運営補助金交付事業【新規】 認知症当事者と家族の交流や情報交換の場である「認知症カフェ」を実施する市民団体等に対し、運営補助金を交付する。 ・補助金 月額 10,000 円を上限</p>
事業の背景など	<p>令和 7(2025)年以降、生産年齢人口が減少し医療・介護専門職の確保が困難となる一方で、65 歳以上の高齢者は増加していく。高齢者の尊厳と自立した日常生活を支えていくためには、医療・介護専門職はより専門性を発揮しつつ、高齢者自身の介護予防への取組みと、多様な主体の地域の力を組み合わせていく必要がある。</p>
目的・効果など	<p>①「元気～フレイル」の時期の対象者に対し、自宅で介護予防に取り組む機会を提供し最終的に集いの場への参加を目指す。また動画視聴履歴、集いの場参加状況、基本チェックリスト結果など個人単位の情報を管理し、介護予防に取り組む方と取り組んでいない方で評価を実施し、集いの場への参加が介護予防につながることを市民へ見える化し、集いの場への参加者を増やす。</p>

-
- ②「フレイル～要支援」の対象者に対しては、住み慣れた地域で生活支援を受けることで、安心して生活を送ることができ、また地域住民が主体的に支え手としての活動を行うことで、地域の支え合い体制を構築する。
- ③「要介護や認知症」の時期に対しては、認知症当事者及びその家族、認知症サポーター等のボランティア、介護の専門職等が集い、認知症に関する知識の普及や相互に情報を交換し合う場である「認知症カフェ」等を運営するための支援を行うことで、当事者の居場所作り、家族を支援する。
-

事業スケジュール	① R6.8～ 動画配信サービス利用希望者を募集（広報8月号掲載）
	R6.10～ 動画配信サービス開始
	②及び③ R6.4～ 補助申請受付開始

添付資料	あり
------	----

備考	なし
----	----

担当課	健康福祉部 高齢者支援課	電話 53-4368
-----	--------------	------------
